

みどりの風

令和3年6月14日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

心を見つめる教育週間スタート～校長講話から～

本年度の「緑っ子の心を見つめる教育週間」がスタートしました。命の大切さを改めて認識し、互いを思いやって過ごすことの心地良さを学び直す週間です。そのスタートにあたって、緑の誓いの一つである「みんなと仲良くします」について全校児童に訴えました。

「みんなと仲良くします」 大事な緑の誓いの一つです。緑小の子ども達全員が、学校でも、家に帰ってからも、いつでも・誰とでも仲良くできるようになるためにはどうしたらよいかについて、考えてみたいと思います。

＜以下、プレゼンを使って講話を進めました＞

みなさんに質問します。

泣いている赤ちゃんを見かけたら、みなさんはどうしますか？ 小さい幼稚園児が目の前で転んで泣いていたらどうしますか？ きっと、泣き止むよう赤ちゃんをあやしたり、転んだ小さい子を助け起こしたりするでしょう。行動に移すことができなくても、相手のことを心配すると思います。

2つ目の質問です。車イスが思うように進まなくて困っていたり、歩くのが辛そうにしているお年寄りの方を見かけたりしたら、みなさんはどんな気持ちになりますか？ きっと、車イスを押してあげたり、お年寄りの手を取って支えたりして助けよう、助けたいと思うはずですよ。

みなさんは誰でも「優しい心」を持っています。ところが、学校では、時々相手と気持ちが通じなくて、ケンカになってしまいます。いつも仲良くしたいと思っているはずなのに。ケンカしたらとても嫌な気持ちになってしまいます。どうすれば、誰でも持っている「優しい心」を発揮することができるのでしょうか？

いつでも、どこでも、誰とでも仲良くするには、**思いやりの心**が必要です。この思いやりという言葉はよく聞くとおもいますが、では、思いやりの心って、なんなのでしょう？ どんな心なのでしょう？

もう少し分かりやすく、具体的に話してみます。

思いやりの心の第一歩は、**相手の気持ちを想像したり、考えたりすること**です。近くに泣いている友達がいたら、何が悲しいのかな？ なぜ泣いているのかな？ ひょっとしたら具合が悪いのかな？ と想像してみることで。特に、辛そうにしている友達がいたら、無関心にならず、相手の気持ちを想像してみることで大切です。

また、顔の表情や動きを見て、いつもと違っていたら、どうしたの？と**声をかけたり、話を聞いてあげたりしてみる**ことです。自分には関係ないから放っておこうとは考えず、その子のために、あなたが行動を起こすことです。声をかけられたり、話を聞いてもらったりすると、誰でも嬉しくなったり、辛さが弱まったりするのです。

私達は、いろいろなことを、自分を中心に置いて考えます。ですから、ついつい、自分に都合のよいやり方を進めようとしてしまいます。また、自分と相手は同じ考えだと思い込んでしまいます。でも、人の気持ちは様々で、違うことだってあるのです。

相手の気持ちを考え、想像し、声をかけ、話を聞く。そうやって動くことが「思いやりの心」なのです。緑小437人全員が思いやりの心、優しい心を発揮して「みんなと仲良くします」という緑の誓いを実現できるよう、助け合って進んでいきましょう。周りの友達に目を配っていきましょう。

子ども達一人一人が生かされる場所。誰もが安心して自分の力を発揮できる場所。そして、互いを思いやる温かい場所。そういう緑丘小を目指して子ども達を育てていきます。